

令和5年度
学校案内

Oita oginodai
high school

school guide 2023

日
々
全
力



大分県立大分雄城台高等学校

充実した進学体制



少人数クラス

単位制の利点を活かし、3年次ではクラスを増やし、平均30人の学級で学習します。生徒一人ひとりにきめ細かく丁寧な教育を行います。

1年次 6クラス

1組 40人	2組 40人	3組 40人	4組 40人	5組 40人	6組 40人	合計 240人
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

2年次 7クラス

1組 36人	2組 36人	3組 36人	4組 36人	5組 36人	6組 30人	7組 30人	合計 240人
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

3年次 8クラス

1組 30人	2組 30人	3組 30人	4組 30人	5組 30人	6組 30人	7組 30人	8組 30人	合計 240人
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

※この図は定員が240名の場合の一例であり、実際の各クラスの人数は生徒の希望に応じて変わります。

教育プログラム

入学後すぐに高校生活の基盤となる学習の方法や生活規律について学びます。ここでは、様々な活動を通してクラスの団結や友情を育みます。

～主な内容～

- ① 構成的グループエンカウンター
- ② 進路講話
- ③ 各教科の学習法指導
- ④ 集団行動
- ⑤ 挨拶10箇条・校歌練習 など

学習スタイル

文武両道を実現する時間割

	6:30	7:10	8:00	8:10		12:05	12:50		15:40	16:10		19:00	19:45	21:00	0:00
通常の時間割	睡眠	起床 朝食	通学	朝学習	午前の授業	昼休み	午後の授業	清掃 終礼	部活動	通学	夕食 入浴など	学習	睡眠		
					OGIメモを活用し連絡を行うため、朝礼はありません。				3時間弱の部活動時間を確保しています。						

アドバンストクラス

九州大学、広島大学、熊本大学等難関国公立大学を志望する生徒で編成するクラス。

高い志を育み、仲間とともに夢実現をめざします。

主な取り組み

【難関大を志す動機づけ】

1. 大学や企業などの有識者による講演会
2. 九州大学など難関大のオープンキャンパス参加
3. 県教育委員会が主催する難関大プログラムへの参加

【志望を達成する学力保障】

1. 難関大個別学力試験に対応した添削指導と特別講座
2. 高い学力に導くための教科担当者面談
3. 外部機関（外務省・予備校など）を利用した学習プログラム

αプロジェクト

標準クラス・アドバンストクラスに関係なく、学年の九州大学・広島大学・熊本大学等を志望する成績上位者対象に行うプログラムで、広く尖った生徒の育成をめざします。

主な取り組み

1. 1年生より個人添削指導（英・数）や特別講座、講演会等を実施
2. 九州大学主催の高度な実験講座（九州大学未来科学者育成事業：QFC）
3. 九州大学大学院筑紫キャンパス訪問
4. 東南アジア等の海外語学研修・国内語学研修
5. 外務省高校講座（外務省職員を招請しての国際事情等の講演）
6. サイエンスダイアログプログラム（外国籍の博士を招聘して講演・英語）

心を育てる生徒指導

雄城坂は挨拶の坂

生徒が自主的に始めた雄城坂の挨拶
先輩から後輩に受け継がれ、雄城高の誇るべき伝統です。



挨拶10箇条

言葉を発してお辞儀する。挨拶は心を込めて、相手の心に伝わるように、一言一句ははっきり大きな声で行う。

- | | |
|---------------|----------|
| 1 おはようございます | 8 「ハイ」 |
| 2 こんにちは | 9 失礼します |
| 3 こんばんは | 10 ありがとう |
| 4 よろしくおねがいします | ございました |
| 5 お疲れさまです | |
| 6 いただきます | |
| 7 ごちそうさまでした | |

清掃活動

「トイレを見れば学校の雰囲気や状態が分かる」
まるでモデルルームのようなトイレは、雄城高の象徴です。



「凜」として雄城高生

自分の身だしなみや身なりを自ら整えていく自己管理能力を実践しているため、服装・頭髪検査は実施していません。また、制服移行期間（冬服・夏服）も特に設けず、体調等に合わせた自分で制服を着こなします。

女子制服 パンツスタイルの選択制

大分雄城台高校では、令和2年度入学生（48回生）から、女子制服に従来のスカート以外に、パンツスタイルの選択制を導入しました。（夏服・冬服）目的は以下のとおりです。

（1）機能性・安全性の向上

本校生徒の約95%は登下校において自転車を活用していることから、選択制の導入は安全性が増すことが考えられます。また、様々な教育活動の場面において、機能性が増し、活動が活発化されると考えています。

（2）防寒・防犯の観点

厳冬期の防寒は勿論のこと、登下校時における安全性を担保するうえで、選択制の導入は有効と考えています。



活力ある部活動

令和4年度 主な部活動成績

【陸上競技部】

全国高等学校総合体育大会			
男子	やり投	3位	砲丸投 出場
女子	4×100mR	3位	100mH 7位・出場 100m・200m・砲丸投・円盤投 出場 4×400mR 準決勝進出
全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選			
男子	やり投	1位	砲丸投 4位
女子	総合	3位	100m 6位・7位 200m 3位・8位 400m 7位 100mH 2位・5位 400mH 7位 4×100mR 1位 4×400mR 4位 砲丸投 4位 円盤投 2位
全九州高等学校新人陸上競技大会			
男子	砲丸投	2位	100m 8位 400mH 8位
女子	400mH	2位・7位	200m 7位 400m 7位 100mH 7位 4×100mR 7位 4×400mR 2位 ハンマー投げ 7位
大分県高等学校総合体育大会			
総合	男子	4位	女子 優勝
個人競技（1位種目のみ）			
男子	砲丸投・やり投		
女子	100m・200m・400m・100mH・400mH・4×100mR 4×400mR・砲丸投・円盤投・やり投		
大分県高等学校新人陸上競技大会			
総合	男子	3位	女子 優勝
個人競技（1位種目のみ）			
男子	400mH・5000mW・砲丸投		
女子	100m・400m・100mH・400mH・4×100mR 4×400mR・ハンマー投		
【水泳部】			
全国高等学校総合体育大会			
男子	100m自由形・100mバタフライ 4×100mFR・4×200mFR・4×100mMR		出場
女子	400m自由形・800m自由形・200m個人メドレー		出場
全九州高等学校水泳競技大会			
総合	男子	5位	女子 5位
男子	100m自由形	2位	200m自由形 5位・7位 200m平泳ぎ 8位 100mバタフライ 5位 4×100mFR 4位 4×200mFR 4位 4×100mMR 5位
女子	400m自由形	2位	800m自由形 2位 200m個人メドレー 3位 400m個人メドレー 4位
全九州高等学校選手権新人水泳競技大会			
総合	男子	優勝	
男子	100m自由形	1位・6位	200m自由形 2位・4位 100m平泳ぎ 5位 200m平泳ぎ 5位 200m個人メドレー 6位 400m個人メドレー 3位 4×100mFR 1位 4×100mMR 2位
女子	200m自由形	4位	400m自由形 1位 100m平泳ぎ 5位
大分県高等学校総合体育大会			
総合	男子	優勝	女子 2位
個人競技（1位種目のみ）			
男子	100m自由形・100m背泳ぎ・200m背泳ぎ 200m個人メドレー・400m個人メドレー 4×100mFR・4×200mFR・4×100mMR		
女子	200m自由形・400m自由形・800m自由形 200m個人メドレー・400m個人メドレー 4×100mFR・4×200mFR・4×100mMR		

大分県高等学校新人水泳競技大会			
総合	男子	優勝	女子 4位
個人競技（1位種目のみ）			
男子	50m自由形・100m自由形・200m自由形 400m自由形・100m背泳ぎ・200m背泳ぎ 50m平泳ぎ・200mバタフライ・400m個人メドレー 4×100mFR・4×100mMR		
女子	100m自由形・200m自由形・400m自由形		

【男子バスケットボール部】

大分県高等学校総合体育大会	ベスト8
---------------	------

【男子ハンドボール部】

大分県高等学校総合体育大会	2位
全九州高等学校ハンドボール競技大会	ベスト16
大分県高等学校新人ハンドボール競技大会	2位

【女子ハンドボール部】

大分県高等学校総合体育大会	3位
大分県高等学校新人ハンドボール競技大会	3位

【ラグビーフットボール部】

全国高等学校ラグビーフットボール大会大分県予選大会	ベスト8
大分県高等学校ラグビーフットボール大会	ベスト8

【剣道部】

大分県高等学校新人剣道競技大会			
	女子団体	ベスト8	
全国高等学校剣道選抜大会大分県予選大会			
	男子団体	ベスト8	女子団体 ベスト8

【弓道部】

大分県高等学校遠的大会			
	女子団体	2位	女子個人 2位

【女子テニス部】

大分県高等学校総合体育大会	団体	ベスト8
---------------	----	------

【吹奏楽部】

大分県吹奏楽コンクール	高等学校の部	金賞
-------------	--------	----

【科学部】

全国高等学校総合文化祭	自然科学部門地学	出場
科学クラブ研究発表大会	物理	優良賞

【放送部】

NHK杯全国放送コンテスト大分県大会		
	創作テレビドラマ部門	優秀賞
NHK杯全国放送コンテスト		
	創作テレビドラマ部門	制作奨励賞（全国ベスト20相当）

【美術部】

大分県高等学校文化連盟美術専門部スケッチ大会	推奨	3名
全九州高等学校総合文化祭大分大会 大会マスコット審査	優良賞	1名
全九州高等学校総合文化祭大分大会 大会ポスター原画審査	優良賞	1名
大分県高等学校文化連盟美術・工芸中央展	最優秀賞	1名
	優秀賞	1名

【書道部】

席上揮毫大会		推奨	3名
大分県高等学校競書展	硬筆の部	OB S賞	1名
	高教研会長賞		1名
		推奨	2名
		特選	4名
	毛筆の部	推奨	4名
		特選	3名

【文芸部】

大分県文芸部誌コンクール			
詩部門	優秀賞	2名	俳句部門 優秀賞 1名
俳句部門	優良賞	1名	短歌部門 優秀賞 1名
散文部門	優良賞	1名	
大分県高校文芸72コンクール			
詩部門	最優秀	1名	（県・全九州総文出場）
短歌部門	優秀	1名	俳句部門 優秀 1名
文芸部誌部門	優秀		



陸上競技部



男子ハンドボール部



水泳部



野球部



書道部



吹奏楽部

大分雄城台高校が育成したい生徒像

教育目標

『誠実・自主・創造』の校訓のもと、社会において遅しく生き抜き、積極的に社会貢献できる生徒の育成。

持続可能な社会の構築に必要な資質・能力

ESD(持続可能な開発のための教育)を推進し、6つの資質・能力を身に付けさせる。

「誠実」

情報整理力
協働

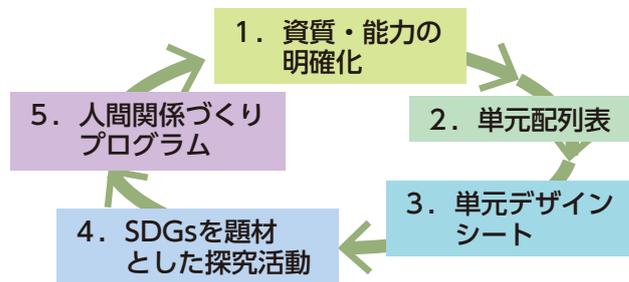
「自主」

課題解決力
自他の尊重

「創造」

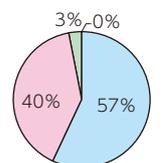
発信力
チャレンジ精神

育成に向けた取組の内容

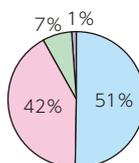


学校への保護者満足度

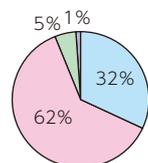
あいさつ・清掃



学校満足度



ESD推進



■ できている
■ まあまあできている
■ できていない

■ 思う
■ まあまあ思う
■ 思わない

■ はい
■ どちらかといえば、はい
■ どちらかといえば、いいえ
■ いいえ

令和4年度保護者アンケートより

躍進する進路実績

48回生(令和4年度卒)の合格状況

国公立大学 現役合格者数 85名

広島大：1名 熊本大：4名 大分大：35名 宮崎大：5名
北九州市立大：9名 大分県立看護科学大：8名 長崎県立大：3名

本年度の国公立大学・大学校の現役合格者数は85名となりました。ブロック大の広島大学・熊本大学にも合格し、地元の大分大学には36名、大分県立看護科学大学には8名が合格しました。また、私立大学にも、立命館大学や西南学院大学など延べ223名が合格しました。これは「授業」・「挨拶」・「清掃」・「部活動」などの日々の活動に「日日全力」の精神で生徒全員が心一つにして取り組んだ成果です。安定的な進学実績は、今後の後輩たちに引き継がれ、「文武両道の雄城台」を確かなものにしてけると確信しています。

《国公立大学の主な合格状況：85名》

広島大・熊本大・九州工業大学・長崎大・佐賀大・大分大・大分県立看護科学大・富山大・島根大・福岡教育大・宮崎大・琉球大・下関市立大・周南公立大・山口県立大・北九州市立大・長崎県立大など

《私立大学の主な合格状況：223名》

立命館大・関西大・近畿大・福岡大・西南学院大・立命館アジア太平洋大・日本大学・日本体育大・岡山理科大・環太平洋大・九州産業大・別府大学・日本文理大 など

《医療・看護系の主な合格状況：25名》

別府医師会立別府青山看護学校・大分平松総合医療専門学校 など

【卒業生の合格体験記より】

・推薦入試で不合格だったため、共通テストでD判定だったときは焦りや不安でいっぱいでした。しかし2次試験に向けて自分の勉強法を信じ、最後まであきらめなかった結果、自分の志望する大学に逆転合格することができました。私はその瞬間に自分を信じ続けて良かったと思いました。みなさんもどんな判定が出ようとも、最後まで自分を信じ続けて頑張ってください。

・大学受験は模擬試験や日々の予復習に課題と日々追い込まれ辛く思いましたが、支えになってくれたのは先生や友達でした。受験は団体戦という意味を初めて理解できました。大学受験は人生の中でも特別な経験であり、大きな壁だとも思います。しかしその過程や努力はどんな結末であれ無駄にはならず、これからの自分の成長を支えてくれるものになったと思います。

日日全力の学校生活

年間行事

4 Apr. 入学式
教育プログラム
(1年次)
歓迎遠足



10 Oct. 同窓生
里帰り講演会

5 May 前期生徒総会
交通講話



11 Nov. 後期生徒総会
修学旅行
(2年次)

6 June 県高校総体



12 Dec. 新春行事
(百人一首・
雄風鍋)

7 July クラスマッチ
同窓生による
職業人講話
(1年次)



1 Jan. 大学入学共通テスト
(3年次)

8 Aug. 学習合宿
(3年次)
クリーンアップ雄城台



2 Feb. 強歩大会
(1・2年次)

3 Mar. クラスマッチ
(1・2年次)
卒業式

在校生・卒業生からのメッセージ

～毎日が最高のチャンスだ～

夢は自分の手でつかむもの、誰かに与えられるものではありません。雄城高生は、一日一日を大切に新しい何かに挑戦するために「日日全力」で歩んでいます。

48回生 後藤 右成

植田南中学校出身 男子バスケットボール部
佐賀大学 理工学部 理工学科



大分雄城台高校では素敵な先生方に恵まれ、同じ志を持つ仲間の中で、「日日全力」で勉強や部活動、課外活動に3年間打ち込むことができました。

私の受験勉強は、3年生の6月の高校総体が終わってから本格的に始まりました。その時は、1年生の頃から少しずつ勉強してきた人と比べると足元にも及ばないような実力でした。夏休みに入り学校での自学にも毎日欠かさず参加し、その後は実践的な演習を進めていきました。しかし、夏休み明けの模試ではあまり点数が取れませんでした。1ヶ月ちょっとの勉強では点数は上がりませんでした。秋には毎週のように模試があり、その度にやり直しをして疑問が残ると必ず先生方に質問に行きました。質問に行くと、休み時間だけでなく放課後にも対応していただき、理解できるまで丁寧に教えていただきました。質問する度に理解できたことが実感でき、とても感謝しています。この頃から、徐々に実力がついてきました。私が進路について悩んでいる時、自分の夢について一緒に考えていただき、様々な入試形式があることなどのアドバイスをいただきました。気持ちを強く持って最後まで勉強に打ち込めたのは、部活動などで培った最後まで諦めない心と励まし続けてくださった先生方、そして、受験に向けて良い雰囲気を作ろうと意識を高く持ち続けたクラスメイトがいたからです。

あなたも大分雄城台高校で、出会った先生や仲間の中で成長し、進路目標を実現しましょう。

49回生 猪俣 友基

植田東中学校出身 弓道部



大分雄城台高校は、部活動や勉強に集中できる環境が整っている学校です。

先生方は僕たち生徒にとっても真摯に向き合ってくれます。授業や模試で分からないところがあれば、積極的に先生に質問すると丁寧に答えてくれます。先生方は大学入試に向けてやるべきことを教えてくれたり、生徒の疑問や悩みを解決するためのアドバイスをくれます。

また、部活動も盛んで優秀な成績を残しています。部活動と日々の課題や授業の予習などを両立するのは大変ですが、朝、学校に来てから朝学習が始まるまでの時間や、授業の合間の10分間休み、昼休みなどの隙間時間を有効活用して勉強することで補完することができます。時間を効率よく使う勉強法を習得すると、受験勉強の強みとなります。

さらに、雄城台高校は大分大学と連携した取り組みも多くあり、それに参加することによって、大学とはどのような場所でのような取り組みをしているかなどをリアルに知ることができます。実際に大学生から様々な話を聞ける機会もあります。その他にも、大分大学以外のオープンキャンパスの案内や進路セミナーの案内、県内で行われている高校生向けのイベントの案内など、自分の進路にプラスになることや、将来への視野を広げることができる機会をたくさん提供してくれます。

ぜひあなたも雄城台高校で、三年間を通して大きく成長できる高校生活を送りましょう。

50回生 阪本 莉玖

南大分中学出身 女子バスケットボール部 生徒会長



大分雄城台高校は、「誠実・自主・創造」の教訓の下、毎日「日々全力」で学校生活を送っています。雄城台高校は学習に集中できる環境が整っており、学力の向上が日々感じられます。授業では、小テストで基礎知識を確認したり、ペアワークを通して自分の意見を周りとは共有したりすることで前向きに取り組むことができます。もし、わからないときは、先生が1対1で解決するまで分かりやすく説明していただけます。進路においても、たくさんのアドバイスや情報を得ることができます。

また、雄城台高校にはOGIメモという手帳があり、1日の日程を書くことで生活リズムや学習時間を見直そうとする意識が高まり、計画的な学習ができます。さらに、一週間の振り返りをペアの人と共有し褒めあったり反省しあったりして、コミュニケーション力を深め、モチベーションを高めます。私はOGIメモに学習時間を書き込み、1日にどれくらい学習したかを確認できるようにしています。

雄城台高校は部活動にも力を入れています。優秀な成績をおさめている部活動が多いのも特徴です。それぞれの部活動が高い目標を掲げ、切磋琢磨しています。そして、楽しい行事があります。9月祭の体育の部では、団の仲間と心をつにし、競技に真剣に取り組めます。文化の部では、クラスごとの発表があり日常では味わえない特別な時間を過ごせます。

あなたも雄城台高校で、思い出に残る高校生活を送りませんか。

51回生 日野 永輝

植田東中学校出身 弓道部



大分雄城台高校の生徒は、校訓である「誠実・自主・創造」を遵守し、授業や部活動に臨んでいます。日々の授業では、グループ活動やペア活動が多く取り入れられ、一人一人が能動的に活動することができます。また、SDGsを題材とした探究活動が多く行われ、昨今の世界の流れに沿った教育を受けることができるので、社会貢献への興味関心も高まります。さらに、習熟度に応じた授業が展開されており、生徒個々に応じた教育が施されるので、学習の理解が深まるとともに意欲も高まります。

他にも、大分雄城台高校は挨拶を奨励し、心の教育にも力を注いでいます。先輩方から継承されている雄城坂の挨拶は学校の看板となっています。雄城高生は、相手の心に伝わる挨拶について定めた『挨拶10箇条』を胸に挨拶に励んでいます。挨拶は、他の人と心を通わせ自身を成長させることができます。慣れないうちは大変かもしれませんが、次第に慣れていきます。

大分雄城台高校は、高校生活のさまざまな場面で楽しく学ぶことができる学校です。日々の生活の中に、かけがえのない体験がたくさんあります。あなたも人生一度の高校生活を、雄城高で過ごしてみませんか。

